

建災防熊本県支部「熊本県建設業労働災害防止大会」開く 安心で快適な職場環境づくりへ、災害ゼロ誓う



安心して働くことができる快適な職場環境づくりを誓った「令和8年度労働災害防止大会」

「仲間の一声で摘む危険 みんなで築く安全職場」を大会スローガンに建設業労働災害防止協会熊本県支部（前川浩志支部長、建災防）は7月28日、熊本市の熊本ホテルキャスカルで令和8年度熊本県建設業労働災害防止大会を開いた。会員ら約430人が参加し、一丸となって労働災害ゼロを目指すことを誓った。



大会挨拶の前川県支部長

初めに、前川支部長が挨拶に立ち「県内の建設業を取り巻く環境は、自然災害からの復旧・復興工事に加え、半導体製造工場関連工事をはじめとした社会交通インフラ整備促進による工事量の増加、さらには業界を支える労働者不足、時間外労働規制といった課題などがあり、厳しい状況下にあります。このためには、労働者が安心して働くことができる職場を実現していくことが大切。人命尊重の基本理念を再認識して、職場の安全衛生活

動が活性化し、労働災害にない安心して働くことができる快適な職場環境づくりに努めていきたい」と呼びかけた。

来賓祝辞で、厚労省熊本労働局の金谷雅也局長は、県内の労働災害発生状況を踏まえて、労働災害防止対策について話し、基本的な安全衛生対策や熱中症予防の徹底を求めたあと、「この大会の目的にあるように、関係者全てが安全意識を自分のこ



祝辞の金谷熊本労働局長



**祝辞の
和田熊本河川国道事務所長**

ととして捉え、行動をとることがゼロ災につながる。本日の大会が自主的な安全衛生活動推進の契機となり、県内建設業における労働災害の撲滅に寄与することを期待したい」と挨拶。

国交省九州地方整備局熊本河川国道事務所の和田賢哉所長は「事業推進にあたり最も重要なことは、事故がなく安全に作業すること。各事業所では事故事例の活用による注意喚起や情報提供、現場では安全が何よりも最優先されることを発注者はもとより、現場の一人ひとりまで認識を徹底し、工事事故ゼロに取り組んでいく所存。ぜひ、現場代理人や監理技術者は建設現場での強いリーダーシップを発揮してほしい」と述べた。

大会では、安全表彰のあと、同協会の釜石英雄技術総括審議役兼事業部長が「熊本地震から10年～復旧・復興工事の減災への取り組み～」をテーマに講演。外国人技能実習機構熊本支所の川田浩平支所長が「建設業における技能実習生の労働災害防止」について話した。釜石氏は、建災防のこれまでの取り組みについて振り返ったあと「発災直後の緊急工事をより安全に施工するためには、あらかじめの教育や補給ツールの備蓄などを通して『備える』ことが必要だ」と訴えた。

最後に熊本県建設業協会青年部の古沢奨さん（㈱南陽建設）が大会宣言。労使一丸となつてより安全で健康的な働きやすい職場環境の実現に向けて邁進することを誓った。



受賞者の表彰式



**講演の釜石建災防理事技術
総括審議役**



安全意識を高めた参加者

表彰受賞者は次の通り。

【優良賞】事業場＝㈱山崎企業、㈾和田商会、㈱富山工業、▽工事現場＝㈱土井組（R5・6・7球磨川合志野地区宅地等嵩上げ（その1）工事）、三和建设㈱（国道267号（4751）2年発生道路災害復旧（その3）工事）、志水・山口建設工事共同企業体（熊本市植木火葬場建設工事）、㈱建吉組（花陵中学校体育館改築工事）、㈱吉田工業（上益城平坦地区広域営農団地農道保全対策工事⑤）

【功績賞（個人）】安全衛生推進者＝石坂洋志（㈱富山工業）、▽所長＝鶴田智大（㈱中山建設）、新立慶蔵（㈱佐藤産業）、生魚秀一（㈱松下組）、本田光照（㈱吉田工業）▽職長＝杉本芳信（㈱福岡建設）、小原浩幸（肥後環境㈱）、西孝則（三和建设㈱）